

平成 30 年度悠久会神奈川支部総会報告：新体制の神奈川支部

上原 知幸（電気電子 H18、神奈川支部常任幹事）

平成 30 年 10 月 14 日横浜崎陽軒本店で神奈川支部総会が開催されました。今回は来賓 14 名、支部員 20 名の参加者 34 名であり、幅広い世代の集まる総会となりました。

藤原副支部長の司会・開会宣言で始まり、相馬新支部長より昨年度の活動と今年度の計画が報告され、承認されました。新しい神奈川支部の門出に際し、新支部長の抱負が示されました。

その後、藤原英次副支部長の司会により、囲碁同好会活動報告、副工学部長 坪井望教授の母校近況と続き、さらに休憩を挟んで俳人 松永巖様に「私と俳句～初心者の俳句と花鳥諷詠について」と題してご講演いただきました。ご講演は、俳句のいろはに始まり、91 年間の人生におけるご経験を過去から現在までを幅広くお話しいただきました。俳句に関するご講演は大変興味深く、私を含め何名かの方々は俳句を始めた様子でした。

記念撮影の後、第二部の懇親会は臺蔵副支部長の司会により、松永様(精密 S22)の乾杯で始まり、小泉靖香様のフルート演奏と本多ゆとり様の二胡演奏が行われました。素晴らしい音色に酔いしれながら時が過ぎ、池田邦彦様の中締めで閉会しました。二次会では、各々近況報告を行い、首都圏同窓会顧問の大石様（応化 S30）のリードで四季の新潟を合唱し、会員相互の親睦が深まりました。近隣支部・会からお越しいただきご挨拶をいただいた方々、ありがとうございました。

